

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	コンビニ（エリア担当）	・観光や行楽シーズンに入るため、通勤客に加え行楽客が増加する。また、外国人客の利用が顕著となっており、この動きが強まるとみている。
	◎	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・忘年会の予約が徐々に入ってきている。特に、8名前後の間合せが多い。
	◎	都市型ホテル（支配人）	・秋口から年末にかけての受注状況は、前年比140%程度の予約を獲得できている。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・大阪・関西万博も10月には閉幕となるため、紅葉シーズンや年末年始の旅行先として当地が選ばれるのではないかと期待する話を聞くことが多くなっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・今後も売上が伸びるのは、物価高の影響が1番大きい。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・経済政策や年末に向けての需要に期待したい。
	○	一般レストラン（経営者）	・年末に向けて動き出す時期になり、季節商材は高くても売れる時期でもある。今はまだ不景気だが、多少は良くなることを期待したい。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は前年よりも団体客が多く入り、それにつられるようにレストランの朝食売上も堅調に伸びている。割合こそまだ低いですが、企業系のインバウンドも増えており、宿泊、料飲部門は今秋のめどが立っている。一方、宴会は前年実績は超えているものの、件数は伸び悩んでいる。
	○	旅行代理店（従業員）	・販売量と来客数が伸びている。
	○	タクシー（経営者）	・昼も夜も動きが良くなってきているため、これからも良くなる。
	○	美容室（経営者）	・10月からのドラマの舞台になったため、インバウンドの恩恵に期待している。
	○	設計事務所（所長）	・首相の交代により景気対策の効果を期待したい。
	□	商店街（代表者）	・秋に市をあげてのイベントが予定されている。暑さの落ちつき次第で、期待している。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・植物をみれば秋の気配がある。しかし、物価は値上げばかりで良いことはないため、見通しは暗い。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・しばらく行事もないので、このまま変わらない。
	□	百貨店（営業担当）	・一部富裕層による動きがみられるものの、限定的である。大多数を占める中間層の生活防衛意識は依然として高いままである。向こう数か月は現状維持が想定される。
	□	百貨店（営業担当）	・10月末にかけて気温が高めで推移するとの予報と、値上げや価格高騰の影響で、秋冬衣料品、住居関係商材の苦戦は避けられないと考える。顧客の秋の行楽に向けたアイテム購買等に目立った動きはなく、今後の季節イベント、モチベーション需要をどのように喚起するか、試行錯誤は続く。
	□	百貨店（店長）	・環境に影響を受ける側面が強く、様々な要素が不安定ななか、どちらにも転ぶ可能性があるため、変わらない。
	□	自動車備品販売店（経営者）	・特に良くなる理由は見当たらないが、ガソリン価格への対応や減税等があると人の動きが大きく変わるため、減税等の実施がみえてくれば消費に結び付いてくるかとみている。今まで良くなかったことと、このところの安定した売行きを相殺すると変わらない。
	□	住関連専門店（仕入担当）	・物価高に伴う可処分所得の減少は短期的には改善されず、季節変動による増減だけがマイナス要因をカバーする状況は、当面変わらない。
□	その他専門店（総務担当）	・先の仕事がみえてこない。	
□	旅行代理店（経営者）	・繁忙期が終わり年末に向かうため、変わらない。	
□	旅行代理店（所長）	・総裁選挙が来月早々に行われ、新政権に変わるが、どのような施策が行われるのか不透明で、先が見えない。	
□	旅行代理店（営業担当）	・物価高も進行し、レジャーへの支出は期待できない。	
□	タクシー運転手	・地方の田舎では、景気回復が望めない。	

	□	通信会社（営業担当）	・具体的な景気対策が打たれない限り、物価高が続き、悪化はしても良くなることはない。
	□	通信会社（総務担当）	・新商品の発売や半年後に使えなくなるモデルの巻き取りなど、通常であれば販売数が増加する要素が控えているはずだが、ここ半年の販売状況を見ると、期待できない。
	□	ゴルフ場（従業員）	・11月は前年同月より土日祝日の日数が2日多いものの、予約がその分増えてはいない。予約が直近化している影響もあるが、トップシーズンなのでもう少し動きが出ていてもおかしくない。
	□	住宅販売会社（経営者）	・政治的な動きが停滞しているため、住宅ローン金利の上昇もあり、減税等の政策が打ち出されないと顧客の動きは更に悪くなる。
	□	住宅販売会社（経営者）	・最近、客からの不動産に関する問合せが少なくなっている。店舗等は空きが目立ってきている。
	□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・客の価格重視の基準は根強く、金額を引き上げたくても引き上げられない状況は続き、利益を削る状況も変わらない。
	▲	スーパー（総務担当）	・10月に更なる値上げが発表されており、米価も結局高止まりのため、景気は悪くなる。
	▲	スーパー（商品部担当）	・食料品などの値上げが止まらない。家計のやりくりで1番影響を及ぼす飲食費は抑えられる傾向が続く。
	▲	コンビニ（店長）	・当店の商圏内の見込客数が、かなり減少していくようである。
	▲	衣料品専門店（販売担当）	・今後はしっかりと物価高対策が出て、国民生活を後押ししてくれる状況になれば、ある程度、嗜好品にまで消費が伸びてくる可能性はある。今のままなら長期的に景気の悪い状況は続き、じわじわと首を絞めるような感覚で、一層、生活が圧迫されていく。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・受注が減少しているため、受注残も良くない状況が続いている。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・最低賃金の引上げに加え、食材の中心となる米は、10月から品薄で単価も大幅に引上げとなる。野菜類も盛夏の影響で供給が不安定となる懸念があり、収支確保が難しくなる懸念がある。再々となる価格引上げ交渉を進めているが、決着には今までより時間を要するとみている。
	▲	通信会社（社員）	・今後の経済状況にもよるが、食料品を中心に販売単価が上がっており、生活費への影響がある。
	▲	通信会社（局長）	・このまま景気対策が行われなければ、悪くなっていくという実感しかない。
	▲	テーマパーク（職員）	・物価高などにより、レジャー費は劣後になるため、改善の見込みがない。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	・各種値上げにより、消費意欲の低下がみられると考える。
	×	商店街（代表者）	・中心街の橋の架け替え工事や区画整理事業が進み、店舗や住宅の閉店、移転が多数発生している。通行止め区域は今後も拡大予定でその上、市役所の移転問題もあり、中心街の空洞化は避けられない状況で、打開策はない。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・中小企業の我々にとって、インボイス制度、消費税など負担が大きく、国は税金を取りすぎだと感じている。これで、社会保険料まで上げられたら、とてもでないが会社を維持していくのは厳しい。
	×	家電量販店（店員）	・耐久消費財が伸びないと厳しい。
	×	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーの生産台数は横ばいで推移しているものの、米国の関税による下請企業への価格転嫁が心配である。生活関連のスーパーマーケット、商店、レストランや食堂等では、10～20%ほど価格が上昇している。
	×	乗用車販売店（経営者）	・日米共に不安定な政権運営のため、消費者の買い控え感が強い。
	×	住関連専門店（店長）	・景気が良くなる兆しはない。政治の空白による先行きへの不安からくる貯蓄の増加がみられる。
	×	通信会社（経営者）	・中小企業の7割近くが赤字経営という状況下で、あらゆるコストが上昇している。地方の景気は非常に悪い。倒産件数を見れば、一目瞭然である。
企業	◎	—	—

動向 関連	○	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・暑さが収まれば、良くなって来る。
(北関東)	○	窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・需要期に向かうため、少し良くなる。
	○	一般機械器具製造業 (経営者)	・自動車関連で組立て拠点の多極化が決まり、数量の増加を見込んでいる。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	・若干の受注増加の情報や連絡をもらっていることや、飛び込みでの受注があったため、やや良くなる。
	○	経営コンサルタント	・インフレの進行度合いにもよるが、行楽シーズンの終盤に当たるとともに、年末消費に向けて多少上向くとみている。ただし、全体の見通しでは、さほど景気の盛り上がりは期待できない。中小企業の業績見直しにも大きな変化はない。
	□	食料品製造業 (経営者)	・消費者の収入が伸びないなか、食品類は米を中心に更なる値上げとなっており、客は生活防衛のため必要最小限の購入に限定している。相次ぐ値上げは、今後の景気にも影響が出ることが予想される。
	□	化学工業 (管理担当)	・製品の購入者が限定されており、消費量に変動がない。
	□	電気機械器具製造業 (経営者)	・このままずっと似たような感じで推移していくとみている。上がりもしなければ下がりもしない。ただし、徐々に上は上がっていくかもしれない。
	□	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・取引先、競争相手の様子が、10月頃から若干良くなるという話が多く出ている。その先は分からない。
	□	その他製造業 [消防用品] (営業担当)	・物価高の状況がいまだに続いている。
	□	輸送業 (営業担当)	・今後は季節変わりにより、秋冬物の家電、電気カーペットやエアコン、ヒーター、こたつ、寝具、インテリア等は前年並みの物量を確保予定である。しかし、関東圏外の遠方向けの車両数が少なくなっており、コスト高により利益が薄い。また、燃料価格の高騰も続いているため、厳しい状況は続きそうである。
	□	金融業 (営業担当)	・地方においては、マーケットの縮小が徐々に進んでおり、金利のある世界への移行に伴い、企業の資金調達コストは上昇する。今後、大幅な金利上昇が起きた場合は消費や投資が縮小する懸念も多々ある。
	□	司法書士	・今の状況は変わらないとみている。今後何が起きるか分からないが、何か特別なことが発生しない限り、このまま順調にいく。
	▲	一般機械器具製造業 (経営者)	・同業者のイベントで、小規模から大企業の社長まで、10名程と話したが、全社で減収減益で、試作や開発関係の受注も例年より明らかに減っており、先行きが不安ということであった。
	▲	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・2～3か月先に主要取引先の減産が決まっており、かなり厳しい状況になる見通しである。
	▲	建設業 (総務担当)	・ようやく業務量も増えてきた感はあるが、公共事業の発注見直しをみてもこの先は不安である。また、民間業務も将来の見通しが不透明である。
	×	不動産業 (管理担当)	・新規管理先の受注が幾らか入ってはいるものの、人材募集がなかなか進まず、パートの人件費で試算しているのに正社員を派遣せざるを得なくなることが予想されるため、人件費増加が今後も続くこととみている。テナントについても、新規入居の反応が良くないため、しばらくは空室が埋まることはなさそうである。
雇用 関連	◎	—	—
(北関東)	○	人材派遣会社 (経営者)	・時期的に、観光地等への来店客、訪問客等も増えていく。まだ暑い日もあるが、暑さが一段落すると、平年並みの気温差で多少は冷え込むため、衣料関係や一部の家電が伸びていく期待もあり、傾向としてはやや良くなる。ただし、ガソリン、灯油等の燃料価格が上がっていくと、買い控え、節約ムードも出てくる。
	□	人材派遣会社 (社員)	・周辺の宿泊施設や物産店に話を聞いたところ、インバウンドは相変わらず多く、やや良い状態でしばらく変わっていないとのことである。宿泊施設の稼働率も依然高く、身の回りでは3か月後も良い状態が変わらないとみている。当社の派遣先はサービス業で、仕事の依頼はあるものの人手不足である。

□	人材派遣会社（社員）	・求人依頼数及び新規求職者数の伸びがみられないため、当面、状況は変わらない。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数を前年同月と比べると、製造業は増減を繰り返している一方、医療、福祉分野は増加傾向で推移している。
□	学校〔専門学校〕（副校長）	・求人の動きは、物価高騰により現在の人件費上昇を考慮した動きになっている。
▲	人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品製造の減産やサービス派遣減少の予定がある。
×	—	—